

## 安全データシート

ページ: 1/12

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Citronellylnitrile / シトロネリルニトリル

バージョン: 8.2

(30035072/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

**品名:**

Citronellylnitrile

シトロネリルニトリル

用途: 化学品, 界面活性剤用化合物, 石けん, 界面活性剤及び化粧品用化合物

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0VOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

**【化学品のGHS分類】:**

急性毒性: 区分5 (経口)

水生環境有害性 短期 (急性): 区分3

**【GHSラベル要素】:**

注意喚起語:

警告

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Citronellylnitrile / シトロネリルニトリル

バージョン: 8.2

(30035072/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

## 危険有害性情報:

H303 飲み込むと有害のおそれ。

H402 水生生物に有害。

## 注意書き（安全対策）:

P273 環境への放出を避けること。

## 注意書き（応急措置）:

P301 + P312 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

## 注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

### 3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

3, 7-ジメチル-6-オクテンニトリル

CAS番号: 51566-62-2

化審法: (2)-1507

労働安全衛生法: (2)-1507

GHS分類に寄与する成分

3, 7-ジメチル-6-オクテンニトリル

含有量 (W/W):  $\geq 75\%$  -  $\leq 100\%$ 

CAS番号: 51566-62-2

化審法: (2)-1507

労働安全衛生法: (2)-1507

急性毒性: 区分 5 (経口)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

化学式: C10 H17 N

### 4. 応急措置

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者への診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。

---

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

二酸化炭素, 泡, 粉末, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

炭素酸化物, 有害な蒸気

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:

汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。容器を噴霧水で冷却する。

---

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤 (例: 砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般用途のバインダー、おが屑) で吸着させる。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。あらゆる着火源 (熱、スパーク、裸火など) を近づけない。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して、乾燥した涼しい場所に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具 (蒸気/エアゾール発生の場合) 固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター (例: EN 143または149、タイプP2またはFFP2)

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1)

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:

保護具は作業と暴露レベルに応じて選定選択すること。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業服は、他の物と分けて保管すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体	
色:	無色	
臭い:	フルーティな香り	
臭いのしきい値:	< 100 ppm	
pH:	この物質は、解離しない。	
ガラス転移温度:	-120 ° C	(OECDテストガイドライン 102)
融点:		(OECDテストガイドライン 102)
	適用せず	
沸点:	231. 43 ° C (1, 013. 25 hPa)	(測定)
引火点:	103 ° C	(DIN 51758, 密閉式)
蒸発率:	値は、ヘンリー則定数もしくは、蒸気圧から類推することができる。	
可燃性 (固体/ガス):	ほとんど可燃性でない	(引火点から導きだした)
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。、爆発下限界は、引火点より5-15°C低い可能性がある。	
爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。	
自然発火温度:	307 ° C	(EU指令 92/69/EEC, A. 15)
熱分解:	約 380 ° C 通常 of 取扱い条件下で危険分解物なし。	(DSC (DIN 51007))
自己発火性:	構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	(その他)
火災を引き起こす性質:	構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。	
蒸気圧:	0. 57 mbar (50 ° C)	(測定)
	0. 05 mbar (20 ° C)	(測定)

密度:	0. 8453 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)	(OECDテストガイドライン 109)
相対密度:	0. 8453 (20 ° C)	(OECDテストガイドライン 109)
相対ガス密度（空気）:	> 1 (20 ° C) 空気より重い。	(算出)
水に対する溶解性:	119 g/l (20 ° C)	
溶解度（定性的） 溶媒:	有機溶媒 可溶	
n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:	3. 55 そのデータは、その物質の解離していない物について述べている。 3. 1 (23 ° C; pH: 6. 2)	(算出) (OECDテストガイドライン 117)
粘度:	2. 5 mPa. s (20 ° C) この値は、測定された動粘度に基づいて算出された。 1. 64 mPa. s (40 ° C) この値は、測定された動粘度に基づいて算出された。	(OECD 114) (OECD 114)
動粘性率:	2. 96 mm <sup>2</sup> /s (20 ° C) 1. 97 mm <sup>2</sup> /s (40 ° C)	(OECD 114) (OECD 114)
モル質量:	151. 25 g/mol	

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第 7 項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 約 380 ° C (DSC (DIN 51007))  
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:

酸

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の実取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 4, 490 mg/kg

#### 急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 4.9 mg/l 4 h (BASF試験)

エアゾールで試験した。

#### 急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮): > 5, 000 mg/kg

#### 急性毒性の評価

単回の摂取であれば、低毒性である。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

#### 症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

#### 刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404に類似)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

**感作性の評価:**

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。人において、コントロールされた医学的研究は、皮膚感作効果を示さなかった。

**実験または計算によるデータ:**

Draize試験 モルモット: 感作性なし (その他)

ヒトにおけるMaximization試験 ヒト: 感作性なし (その他)

**生殖細胞変異原性****変異原性の評価:**

数多くの試験（バクテリア／微生物／培養細胞）においては、変異原性は認められなかった。In vivo 試験においても、変異原性は認められなかった。

**発がん性****発がん性の評価:**

発癌性に関するデータなし。

**生殖毒性****生殖毒性の評価:**

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

**発生毒性****催奇形性の評価:**

動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）****反復投与毒性の評価:**

動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。

**誤えん有害性**

データなし。

---

**12. 環境影響情報****生態毒性**



**水生生物に対する毒性の評価:**

水生生物に対し急性の有害性がある。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

**魚類に対する毒性:**

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 31.58 mg/l, ウグイ (学名 *Leuciscus idus*) (DIN 38412 第15部, 止水式)  
毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

**水生無脊椎動物:**

EC50 (48 h) 11.4 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

**水生植物:**

EC50 (72 h) 14.5 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapitata*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

**微生物/活性汚泥への影響:**

EC10 (10%影響濃度) (30 min) > 10,000 mg/l, プチダ菌 (学名: *Pseudomonas putida*) (DIN 38412 Part 27 (ドラフト), 水生の)  
毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

**魚類に対する慢性毒性:**

試験は、科学的に正当化されていない。

**水生無脊椎動物に対する慢性毒性:**

試験は、科学的に正当化されていない。

**陸生生物に対する毒性の評価:**

試験は、科学的に正当化されていない。

**土壌生物:**

試験は、科学的に正当化されていない。

**陸生植物:**

試験は、科学的に正当化されていない。

**その他の陸生非哺乳動物:**

試験は、科学的に正当化されていない。

**移動性****環境区分間の輸送評価:**

水面から大気中へ徐々に揮発する。  
固形土壌相への吸着が可能である。

**残留性・分解性****除去情報:**

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Citronellylnitrile / シトロネリルニトリル

バージョン: 8.2

(30035072/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

69 % ThOD (theoretical oxygen demand : 理論的酸素要求量) に対する BOD (28 日) (OECD テストガイドライン 301F、ISO 9408、92/69EEC, C. 4-) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥)

水中での安定性評価:

試験は、科学的に正当化されていない。

## 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

n-オクタノール／水の分配係数 (log Pow) より、生体への濃縮性はないと考えられる。

## 13. 廃棄上の注意

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

[汚染された容器]:

汚染されていない容器は再利用できる。

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

### 国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない	
国連番号もしくはID番号	非該当
品名 (国連輸送名):	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### 海上輸送

#### IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名 (国連輸送名): 非該当

国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

海洋汚染物質: 非該当

### Sea transport

#### IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

Transport hazard class(es): Not applicable

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable  
Marine pollutant: no

使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known
<b>航空輸送</b> IATA/ICAO 輸送規則では危険有害性物質に分類されていない 国連番号もしくはID番号: 品名（国連輸送名）:  国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 容器等級: 環境有害性: 使用者への特別注意事項		<b>Air transport</b> IATA/ICAO Not classified as a dangerous good under transport regulations UN number or ID number: UN proper shipping name: Transport hazard class(es): Packing group: Environmental hazards: Special precautions for user	
非該当		Not applicable	
非該当		Not applicable	
非該当		Not applicable	
非該当		Not applicable	
非該当		Not applicable	
知見なし		None known	
指針番号:	171		

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

## 15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

下水道法  
水質基準物質  
該当物質

### その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

## 16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Citronellylnitrile / シトロネリルニトリル

バージョン: 8.2

(30035072/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 07.10.2025

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。